

祝百寿

千葉トヨさん
おめでと〜ございます



千葉トヨさん
(大正14年12月22日生)



お祝いに集まった家族や親戚の皆さんと記念撮影

12月22日、千葉トヨさんが100歳の誕生日を迎え、入居している高砂荘で鈴木重男町長から祝状と祝い金、花束が贈られました。トヨさんは大正14年に7人兄弟の末っ子として小屋瀬地区に生まれました。結婚後は2男2女に、現在は8人の孫、12人のひ孫に恵まれました。「家族のために働くことが好き」だったというトヨさん。98歳まで、自宅の薪切りや薪割りを元気にしていたそうです。また、小屋瀬保育園の園児たちと会うのを楽しみに、自宅のブルーベリー畑の手入れにも精を出し、毎年園児たちを迎えるのが恒例行事だったそうです。

家族や親戚に囲まれ祝福されたトヨさんは「病院の先生や誠心会の皆さん、家族の支えのおかげです」と感謝の言葉を口にしながら、「12人のひ孫の顔を見て、大好きなうす焼きせんべいを食べたい」と、家族からのたくさんのお贈り物を眺めながら、にっこり微笑みしました。

安心安全なまちづくりへ一歩前進 岩手日報販売センターと見守り協定

高齢者等見守りネットワーク協定締結式が12月1日、くずまきで、われ、町と町内3つの岩手日報販売センターが協定を結びました。

鈴木重男町長は「安心安全なまちづくりへ一歩前進する取り組み。これまでもご協力いただいていたが、今後はより一層一体感を高めて取り

組んでいきたい」とあいさつ。江刺センターの村中千鶴子さんは「地域に根差した幅広い見守りにより、地域の安心安全な暮らしに貢献したい」と決意を話しました。

本協定により、販売センターでは新聞配達や集金の際に感じた住民の異変のほか、不法投棄や道路の損傷などを町に共有したり、緊急時には警察や消防に通報したり、幅広い見守りを展開。町と各販売センターが一丸となり、町民の皆さんが安心安全に暮らすための見守りに継続的に取り組んでいきます。



町内3つの岩手日報販売センターの代表と岩手日報社および町の関係者の皆さん



協定書締結の様子

くずまき創造学児童生徒発表会 葛巻の未来を考え深める

令和7年度くずまき創造学児童生徒発表会は12月12日、まき×まきホールで開催されました。この発表会は、町内各小中学校で取り組んでいる「くずまき創造学」の学習成果を発表し合う場として初めて開催され、町内の小中学生約200人が会場およびオンラインで参観しました。

各学校の発表テーマは、葛巻町の自然やクリーンエネルギー、酪農などさまざま。関係者への聞き取りや体験活動、自己探究などで深めた葛巻町の魅力や課題などを堂々と発表しました。発表後には、学年を越えて小中学生がグループになり感想を共有。中学生が小学生をリードしながら、それぞれの感想や意見を交わし、学びを広げました。

松長根大翔さん(江刺中2年)は「今まで以上に葛巻町に誇りを持ちたい」と話し、町の価値を再発見する機会になった様子でした。



▲酪農について学習した成果を発表する小屋瀬小3・4年の児童▲各学校の発表後に行われたグループ活動

令和7年度町善行表彰表彰式

川村久史さん(盛岡市)を表彰



表彰状を手に鈴木町長と並ぶ川村さん

町表彰条例に基づく令和7年度町善行表彰表彰式が11月21日、グリーンテージで行われました。表彰式では、町の地域振興の重要性について深く認識し、多額の寄付をされた川村久史さん(盛岡市)に、鈴木重男町長から善行表彰状が授与されました。鈴木町長は「奉仕の精神を持ち、長きにわたって葛巻町へ多大な寄付をされていることに、町を代表して敬意を表す。頂いた寄付は町民の福祉の向上のために、有効に活用させていただきたい」とお礼のあいさつを述べました。

軟式野球の普及奨励などに尽力

柴田勇雄さん(新町)に生涯スポーツ功労者表彰



文部科学大臣表彰状を手にする柴田さん

長年、軟式野球の発展などに貢献された柴田勇雄さん(新町)が、文部科学省の令和7年度生涯スポーツ功労者に選ばれました。幼少期から野球に親しんだ柴田さんは、長い歴史を持つ県北野球大会をはじめ、野球チーム「オール葛巻」での活動など「野球と共に人生を歩み、多くのことを学ばせてもらった」と追懐しました。また「まちづくりにおいて、スポーツが持つ力は偉大」と話し、「目標を持って、人一倍練習する選手が増えてほしい」と今後の野球界に期待を寄せました。